An architectural rendering of a wellness facility. The scene is set in a valley with rolling green hills in the background. In the foreground, there is a large, curved building with a wooden facade and a glass roof. The building has a series of steps leading up to it. In the middle ground, there are several hot spring pools with steam rising from them. There are also some trees and a white tent-like structure. The overall atmosphere is peaceful and natural.

新湯治・ウェルネスに係る研究・実践拠点施設 整備・運営事業

事業説明資料

令和7年7月
別府市

「世界の人々の健康と幸せに寄り添うまち別府」

別府は古くから湯治場として栄え、心身を癒す場として、人々の健康に寄り添ってきました。

価値観が多様化した現代においても、「健康でありたい」という想いは、変わることはない人々の願いと考えます。

特にコロナ禍を経て、健康であることが幸せであるといった「ウェルネス」へのトレンドが、世界的な普遍の潮流として確立されたといえます。

源泉数・湧出量ともに日本一の別府は、世界に誇る温泉資源があります。

そして何よりも、おもてなしの精神で、世界中の人々を温かく迎え入れる別府の人々も、世界に誇れる人材です。

世界に誇る資源や人材を有する別府には、世界に果たすべき役割があると考えます。

その役割を果たすための目標として、“世界の人々の健康と幸せに寄り添うまち別府”をコンセプトに、新たな産業としての「新湯治・ウェルネス」を推進していきます。

別府市を取り巻く課題として・・・

- 観光消費額の低さ、宿泊数の少なさ
- 人口減少により、国内旅行は将来的に頭打ち
- 滞在・観光のニーズ変化に対応した変革の必要性

課題を克服するための“新湯治・ウェルネス”

市場拡大が見込める

- 世界のウェルネス市場は、2027年には1,200兆円まで拡大が見込まれている。
- コロナ禍を踏まえ、心身の健康など、様々な「ウェルネス」への関心が高まっている。

顧客層を拡大できる

- ウェルネストラベラーは、滞在消費額の高さ、滞在日数の長さ、リピート率が高い。
- 年齢・性別関係なく、ウェルネスに関心のある全方位をターゲットにできる。

別府が世界に誇る温泉を活用できる

- あらゆる人々の心身の癒しに寄与してきた湯治文化はウェルネスとの親和性がある。
- 源泉総数・総湧出量日本一の別府が有する“温泉”を最大限に活用できる。

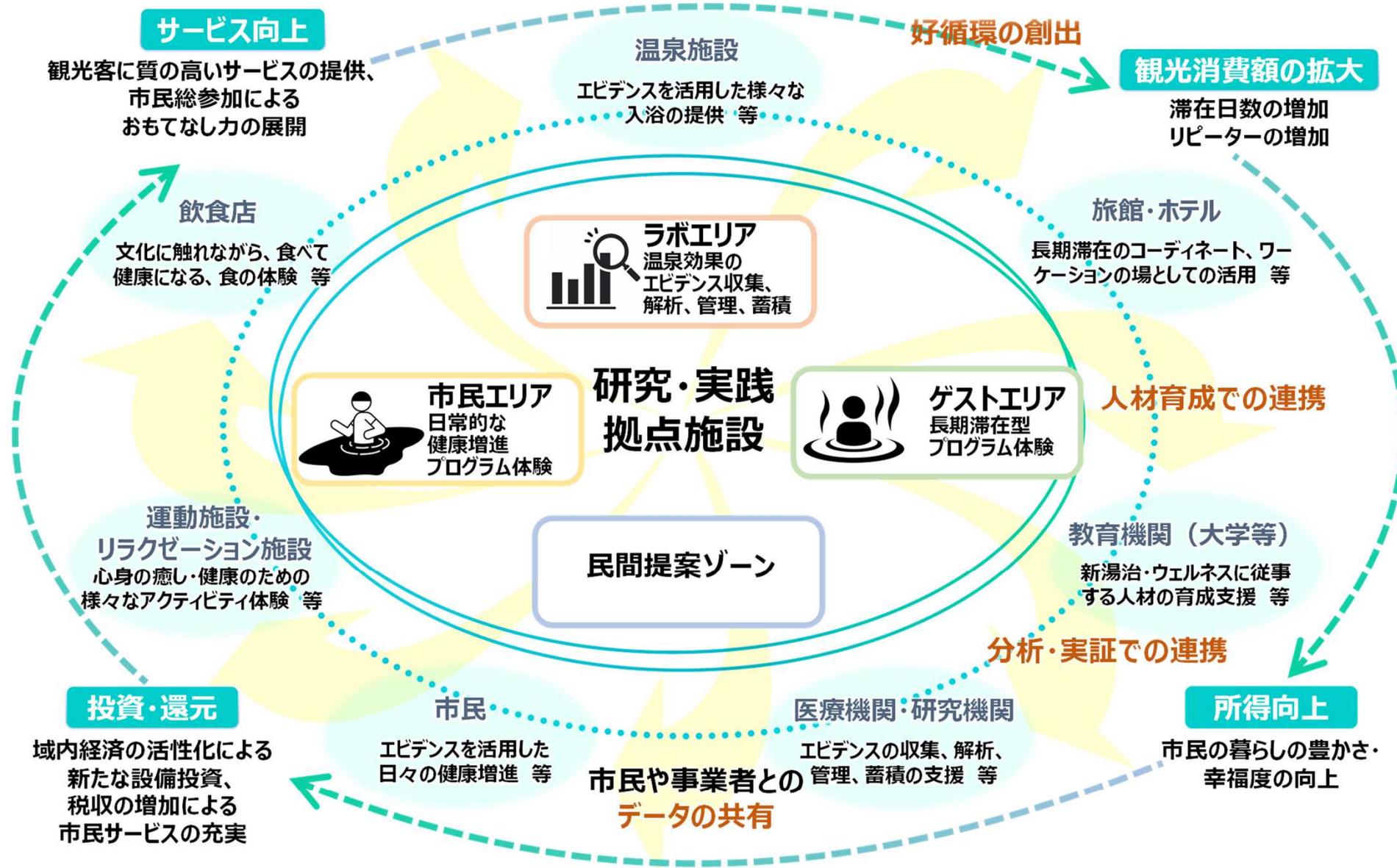
「医療・美容・健康」をテーマに

温泉の効能を「科学的根拠」により示し

別府ならではの「特別な体験」を提供する、

新しい観光のカタチ

『温泉効果の見える化』×『自然・食・文化などの地域資源』による市民ウェルネスの向上と長期滞在型観光の確立



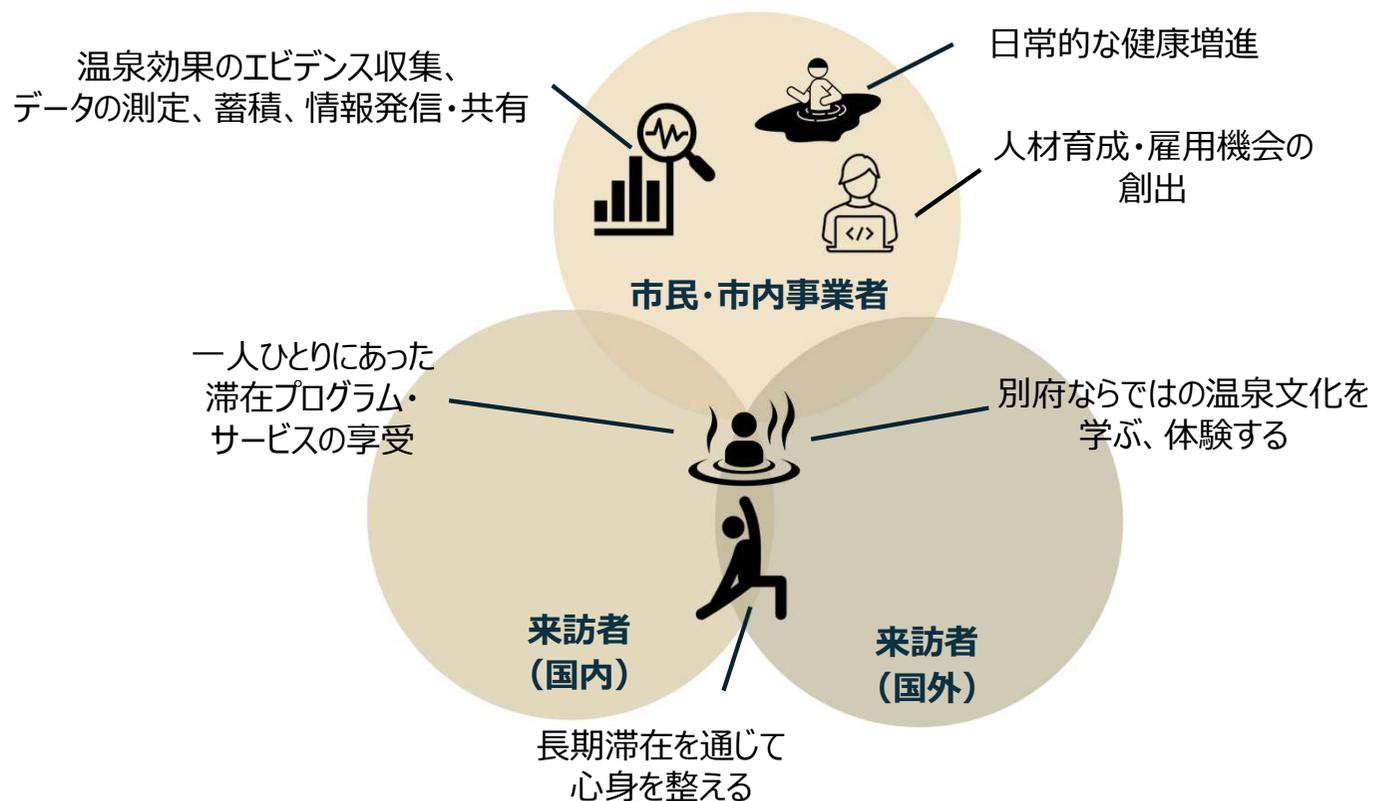
新湯治・ウェルネスの産業化により『別府の高付加価値化』を図り、『持続可能な観光地』を実現

心身ともにより健康で豊かな生活環境が創出され、まちには幸せがあふれている

- 新湯治・ウェルネスを推進する上での拠点として、“研究・実践拠点施設”を整備する。

■施設コンセプトとターゲット

「ウェルネス」を中心に 人・資源・まちをつなぐ 別府のゲートウェイ



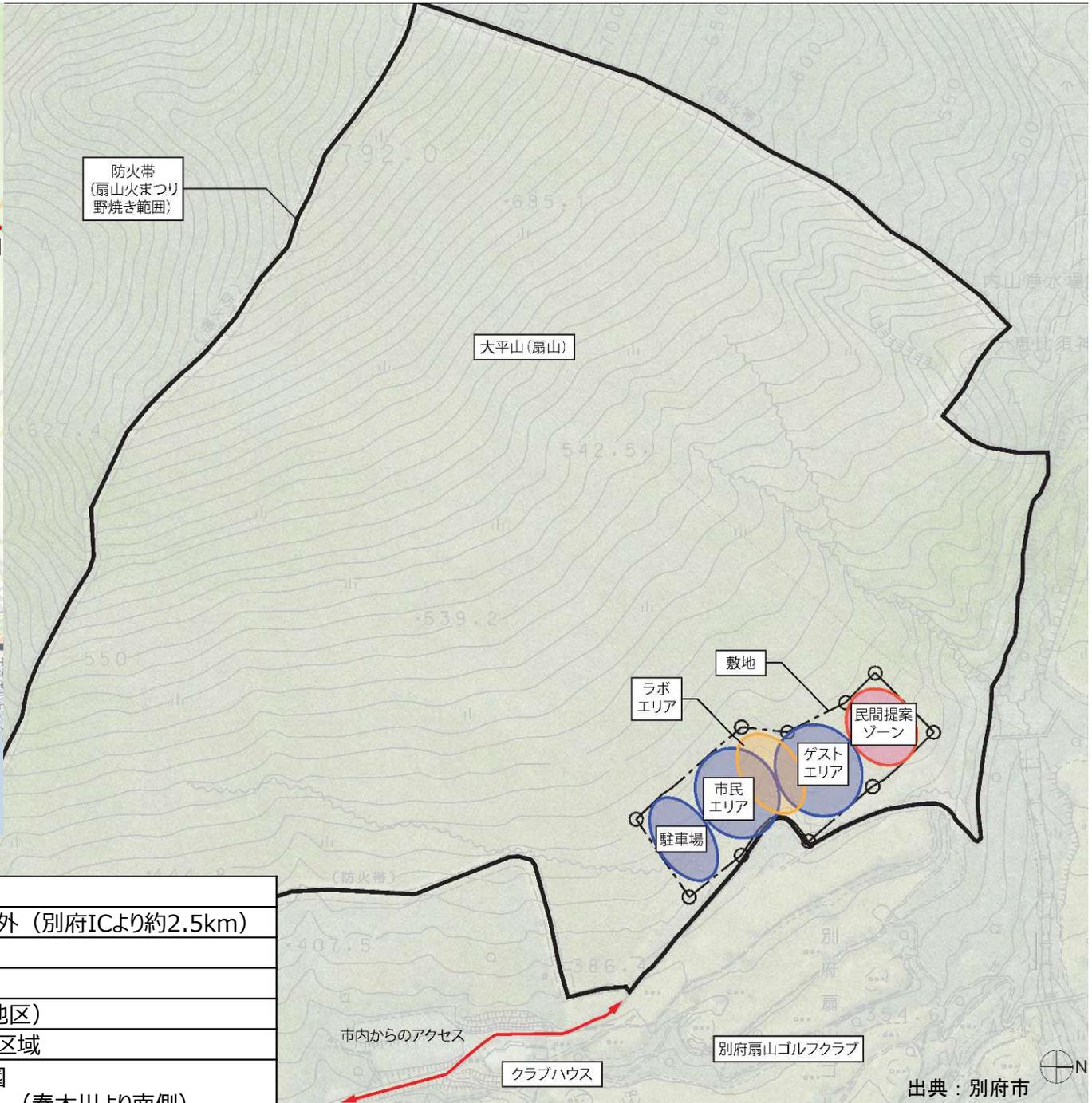
■役割

- **市民・市内事業者**が、健康増進・病気予防や暮らしが豊かになるといった、**様々なウェルネスを実感できる施設**
- 温泉に関するデータやエビデンスを蓄積・共有することで、市内の事業者や取り組みを繋ぐとともに、利用者一人ひとりにあった別府の過ごし方を提案する**市内観光の拠点**となるハブ施設
- **来訪者（国内・国外）**が、心身を整える別府ならではの滞在プログラムにより、別府の新たな魅力に気づき**市内の長期滞在・リピートを促す施設**
- テストマーケティングの場や人材育成の場として**本事業を先導する施設**

- 現時点で想定している導入機能（案）は下表のとおり。

		施設	備考
市民エリア	健康 温浴 機能	温浴施設（屋内・屋外）	
		更衣室、シャワーブース等その他	
		ウォーキングコース（屋外）	※ゲストエリアに含む
		健康相談室	
		多目的室・交流スペース	※ラボエリアに含む
		フィットネス・マッサージルーム	※ゲストエリアに含む
		軽食・物販・休憩スペース	※ゲストエリアに含む
ラボエリア	研究 機能	研究・開発（データセンター等）	
		会議室	
		管理・事務等諸室	
		多目的室・交流スペース（セミナールーム・個別ブース・研究情報に関する情報発信）	
ゲストエリア	情報 発信 機能	カウンセリングルーム	
		情報発信（観光案内）	
	温浴 機能	温浴施設（屋内・屋外）	
		貸し切り温泉	
		更衣室、洗い場等その他	
	飲食 機能	軽食・物販・休憩スペース	
		フィットネス・マッサージルーム	
		ウォーキングコース（屋外）	
民間 提案 施設	機滞 能在	長期滞在を促し、観光消費額を向上させる施設、高付加価値のサービスを提供する施設、など	・民間事業者の提案による

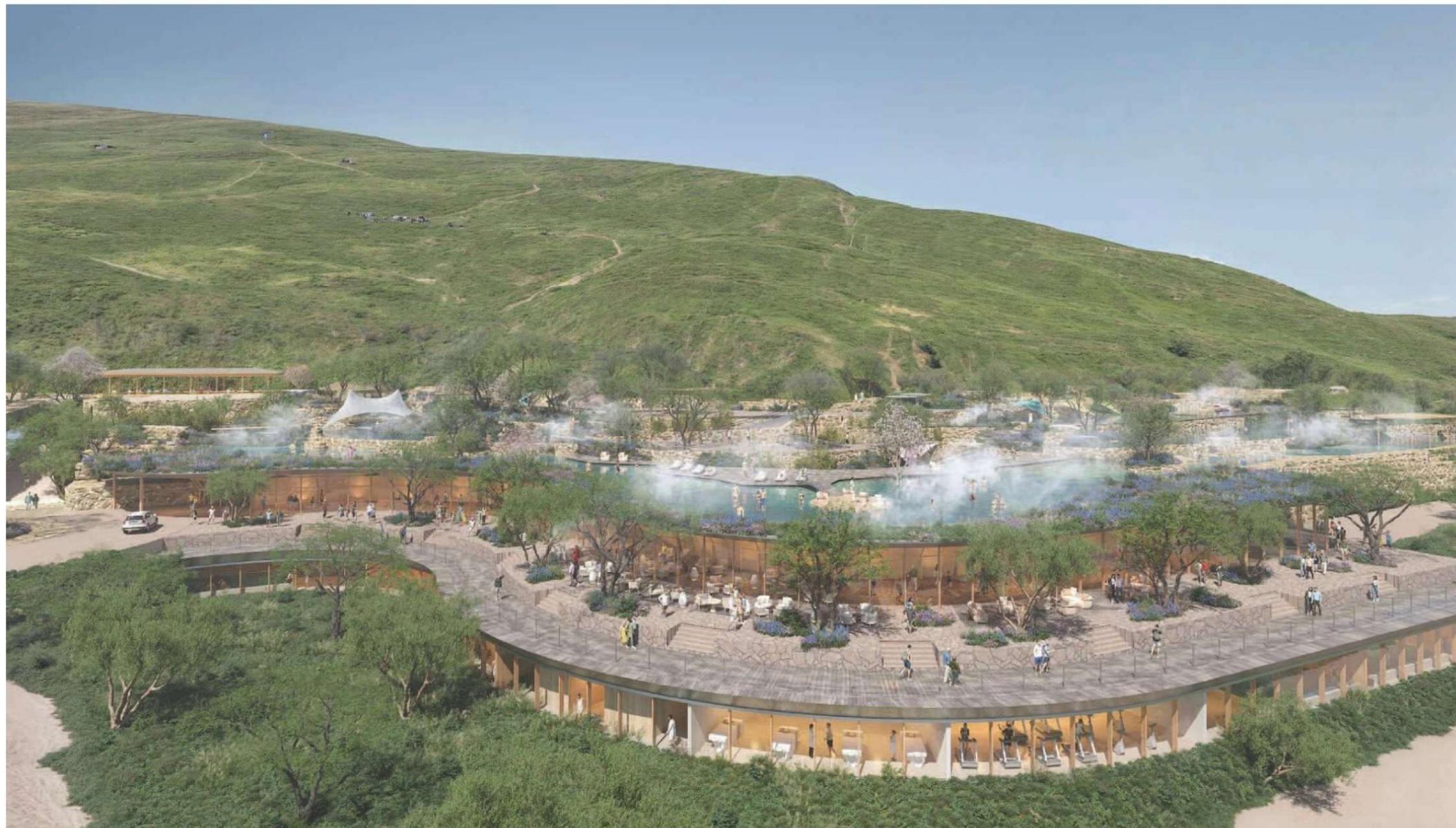
※現時点の想定であり、確定したものではありません。



名称	別府市研究・実践拠点施設		
住所	大分県別府市大字鶴見字大平4550-1 外 (別府ICより約2.5km)		
敷地	敷地面積	4 ha	
	都市計画区域	市街化調整区域	
	風致地区	第3種 (鶴見風致地区)	
	その他区域	宅地造成工事規制区域	
		阿蘇くじゅう国立公園 (第2種特別地域) (春木川より南側)	
	温泉やまなみ景観地域		

※施設配置はイメージであり、確定したものではありません。

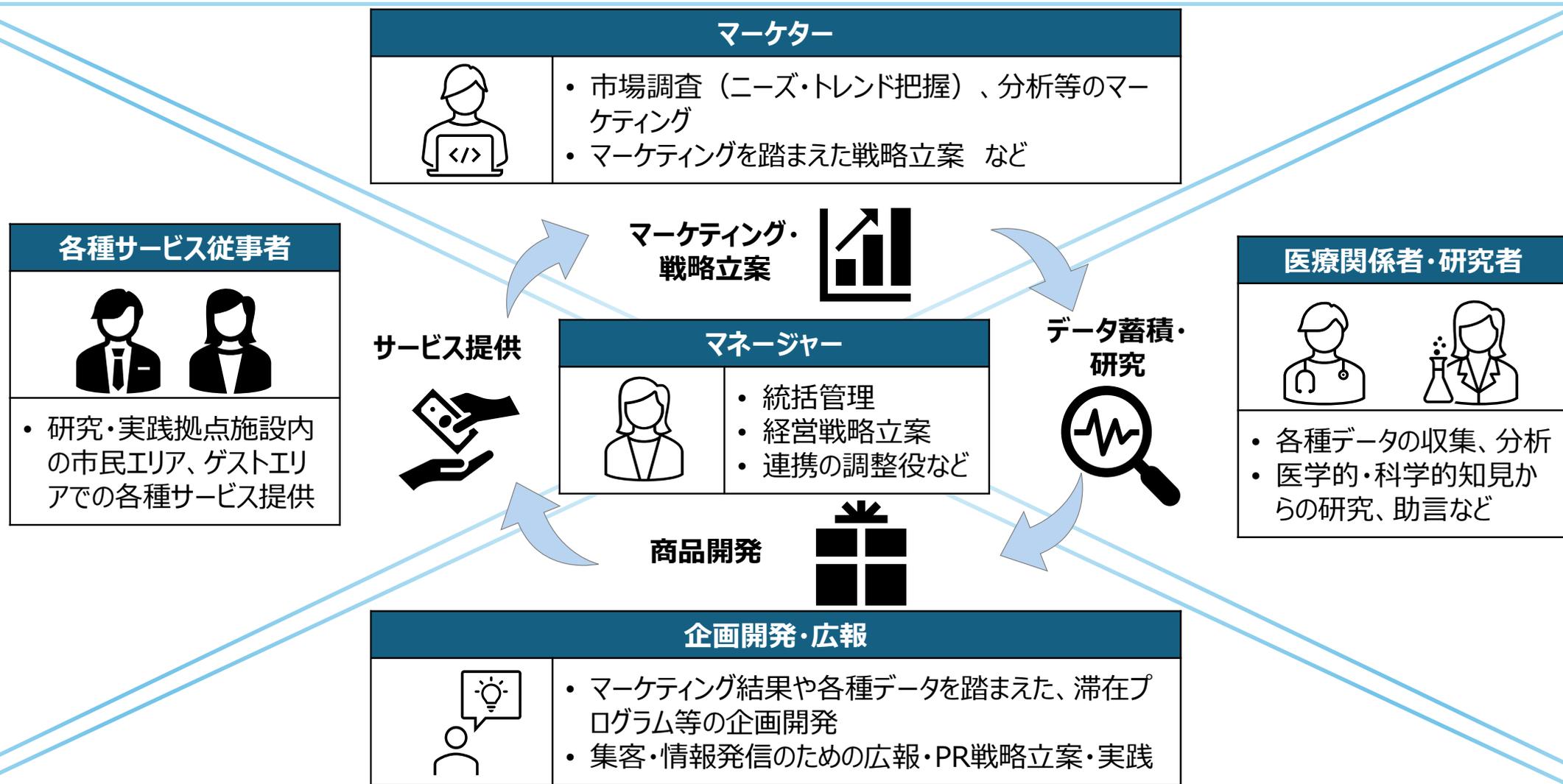
この基本構想デザインは、令和6年度に、研究・実践拠点施設の設置場所を公表するに当たって制作したものです。したがって、必ずしもこのデザインの施設が扇山下に設置されるとは限りません。施設は、今後、基本計画の策定などを経て、具体化されていきます。



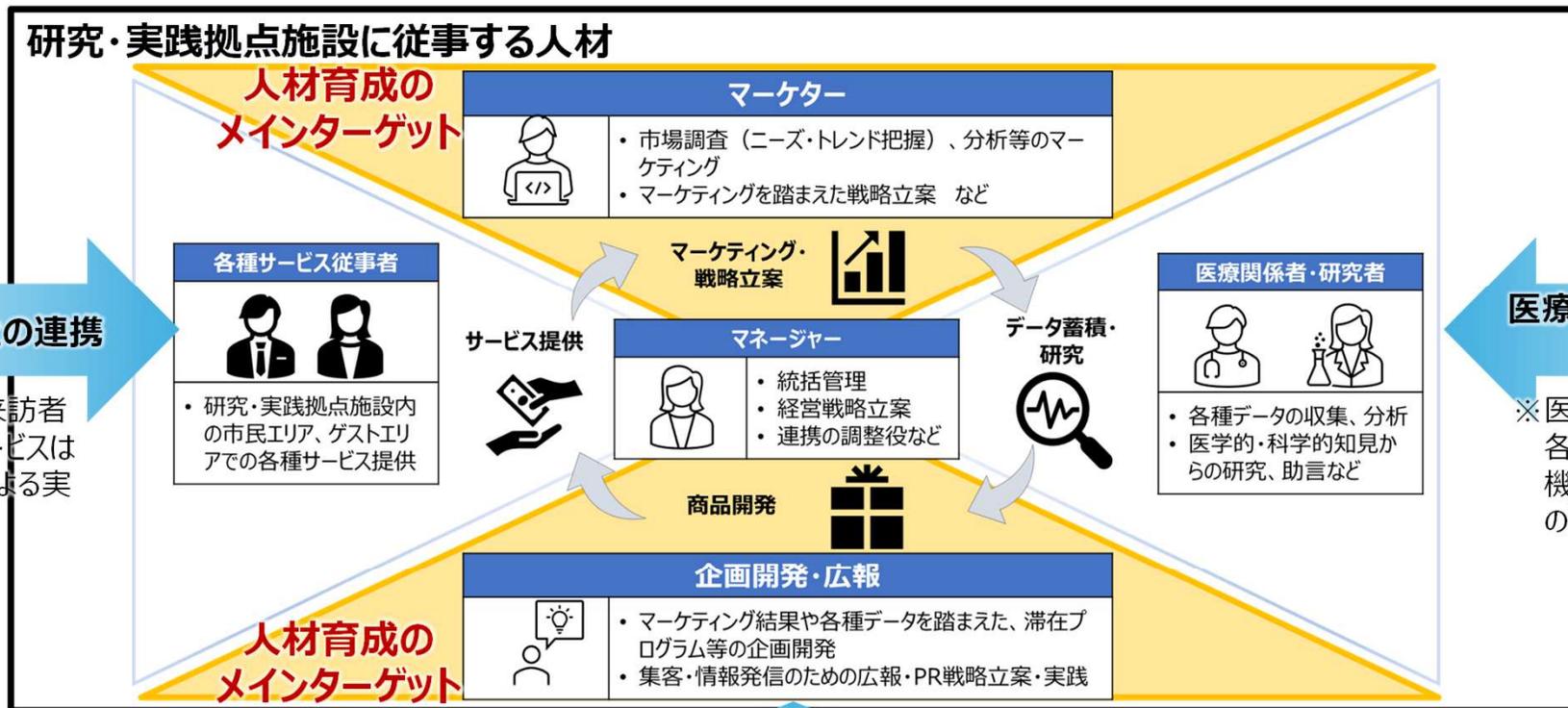
上空からの鳥瞰

※このイメージ図の著作権は、株式会社坂茂建築設計が所有しています。無断での複製、転載、使用などは著作権法により禁じられています。

- 研究・実践拠点施設に従事する人材として、**全体の統括管理や“橋渡し”を円滑に行う「マネージャー」**を中心として、新湯治・ウェルネスの実践に不可欠な**「マーケティング」や「企画・開発」**など、**各分野に専門的なスキルを有するスタッフを配置する。**



- 下記の運営体制のうち、「マネージャー」、「マーケター」、「企画開発・広報」は、新湯治・ウェルネスを推進する上で重要なポジションであり、**市が主体となって人材育成**を行うことを想定。
- 「データ蓄積・研究」は、専門性が求められることから、**外部の医療機関等との連携**を想定。
- **民間事業者は、研究・実践拠点施設の整備や、施設内での各種サービスの実施、民間提案施設の実施及び人材育成への協力を、**主な業務として想定。



※施設内における来訪者への直接的なサービスは民間事業者等による実施を想定

※医科学関連の人材は各種医療機関・研究機関との連携又は人材の登用を想定

新湯治・ウェルネスの連携・協力先としての市民・市内事業者等・・・**人材育成のサブターゲット**

※研究・実践拠点施設に従事しないが、新湯治・ウェルネスを推進する上で連携先となる市民や市内事業者は、人材育成のサブターゲットと設定。人材育成を通じて、市民や市内事業者のスキルアップ・学び直しの場とする。

- 令和6年度に策定した「新湯治・ウェルネスに係る人材育成等に関する基本方針」に基づき、令和7年度より、市内・県内の大学等の教育機関と連携して、試行的な人材育成プログラム（講座）を開設。
- 人材育成のための体制構築の上、育成希望者を募集し、初期段階は、基礎科目＋専門科目の3年程度を育成期間と想定する（4年目以降も受講可能）。
- 並行して、研究・実践拠点施設の機能や整備・運営手法等の検討を進め、人材育成プログラム終了後の活躍の場として、研究・実践拠点施設の早期整備を目指す。
- 人材育成をバックアップするため、市も主体的に支援を行っていく（例：奨学金制度の創設など）。

**試行的な人材育成プログラム開設
（市民をはじめ受講可能）**

（並行して人材育成の体制構築）

**人材育成プログラムの実践
（基礎科目＋専門科目の3年程度）**

人材育成は継続的に実施

プログラム終了

**研究・実践拠点施設の機能や整備・運営手法等の検討／
拠点施設の設計・建設**

**拠点施設をはじめとした
新湯治・ウェルネス産業で活躍**

